中学３年生を対象に実施　　越前市教育委員会

「国語」・「数学」・「英語」の力と学習の様子

～『R8 全国学力・学習状況調査』から～

今年度は、国語、数学、英語の学力調査が行われました。どの教科からも、学校での授業の工夫や家庭での学習支援の効果が表れています。

また、学習や生活に関する状況調査に関する結果について、越前市における傾向をまとめました。

✿は良いところ　➽は伸ばしたいところ

【国語】

① 学習指導要領の内容における結果

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」の5つの内容からの出題でした。（今回は「我が国の言語文化に関する事項」からの出題はありませんでした。）

✿・・・すべての内容において全国の平均正答率を上回っています。

「思考力、判断力、表現力等」において、全国・県の平均正答率を上回っています。

【国語の平均正答率】

全国、県、本市の比較位置

◆福井県　●越前市

■全国63.9

全国および県の平均を上回っていました。

② 全国と比較して正答率の高かった問題

✿・・・「言葉の特徴や使い方に関する事項」において、「単語の活用の類別・活用」の問題について、理解できている生徒が多くみられます。文法の基礎的な知識・技能に関しての理解力が高いことが分かります。

✿・・・「書くこと」において、「表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすことができるかどうかをみる」問題での正答率が高かったです。書く活動の後、互いの文章を共有したり、自分の文章を振り返ったりする活動が生かされていると考えられます。

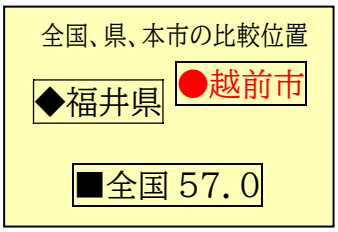
③ 課題

➽・・・「話すこと・聞くこと」において、「目的や場面・必要に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる」問題に課題が見られます。単元を見通しながら学習に取り組むために、課題設定について生徒自身も理解し、学習活動がどのような目的・意図で進められるかについてしっかり自覚しながら学習を進めることが重要です。

【数学】

① 学習指導要領の領域における結果 「数と式」「図形」「関数」「データの活用」の4つの領域からの出題でした。

【数学の平均正答率】



全国および県の平均を上回っていました。

- ・・・「数と式」「図形」「関数」「データの活用」のすべての領域で、全国・県の平均正答率を上回っています。特に「関数」の領域において、全国の平均正答率を大きく上回っています。

② 全国と比較して正答率の高かった問題

- ・・・「関数」の領域において、「反比例の関係を捉え、対応する値を求める」問題がよくできています。反比例の関係を「ｘとｙの積が一定になる」という数量の変化として捉え、表の数値の変化から規則性を見いだして対応する値を判断することができています。
- ・・・「図形」の領域において、「2直線が平行となる条件を判断する」問題がよくできています。角の関係を根拠として2直線が平行であることを判断することができています。今後も、図形の構成要素（頂点・辺・角など）を捉え、必要な性質を選択して根拠をもとに説明する学習を積み重ねることで、図形の証明をはじめとする、より深い図形の理解へとつなげていくことが大切です。

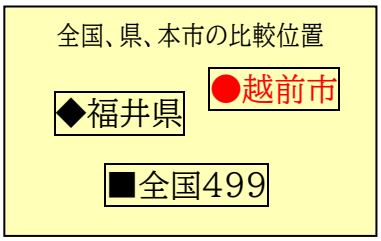
③ 課題

- ・・・「データの活用」の領域において、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明することに課題が見られました。データの特徴を捉えるためには、表やグラフの示す意味に着目し、数量のまとまりや傾向を適切に読み取ることが大切です。また、度数分布多角形の形状や位置が表す特徴を比較したり、複数のグラフを関連付けてデータの傾向を説明したりする学習を通して、データの特徴を数学的に捉え、根拠をもって判断する力をさらに高めていくことが重要です。

【英語】

① 学習指導要領の領域における結果

【英語の平均 IRT スコア】



全国および県の平均を上回っていました。

- ・・・「聞くこと」「読むこと」の領域のほとんどの設問で、全国及び県の平均正答率を上回っています。また、問題形式が「記述式」のほとんど全ての設問において、無回答率が全国及び県の平均を下回りました。

② 全国と比較して正答率の高かった問題

- ・・・「住みやすいまちづくりについての発表を聞き、話し手が最も伝えたいことを選択する問題がよくできています。 必要な情報や要点を聞き取り、話の内容を適切に理解する力が身に付いています。
- ・・・「学校で普段行うことを1つ取り上げ、それについての説明を書く」問題がよくできています。日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができています。「聞いたり読んだりしたことについて、英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動や、自分の考えを英語で書く活動」を今後も継続して行うことが大切です。

③ 課題

- ・・・「書くこと」の領域において、「与えられた情報に基づいて、留学生の昨日の出来事を説明する英文を書く」問題に課題が見られました。場面や状況から適切な文法事項を判断し、正確に英文を書く力をつけるために、文法事項の違いや使い方を整理して理解するとともに、目的や場面に応じて自分の考えや出来事を英語で表現する活動を今後も継続的に行うことが大切です。